

野党統一候補の勝利を 静岡4区補選 田中けん氏(42)が第一声



主党の杉山淳県議、林芳久仁、中澤通訓の両県議、市民連合の人たちなどが駆け付けました。

田中候補は、新型コロナウイルス感染対策に触れ「明日の生活をどうしようか困っている人たちのことを考えるのが政府のやるべきこと。自粛と補償はセットだ」と述べ「国民に寄り添ったコロナ対策を打ち出すためにも、一緒になって政治を変えていかないといけない」と強調。

「相手はゾウのように大きい存在かもしれないが、アリでもゾウを倒すように、みんなの力が集まれば、それを倒せる。最後まで頑張り抜く」と力を込めると、盛んな拍手が送られました。

補選には他に、無所属新人の山口賢三氏(72)、NHKから国民を守る党新人の田中健氏(54)が出馬

しています。野党統一の田中候補の陣営では、同姓同名の候補者がいることから「田中けん42歳」と書いて投票を呼びかけています。

◇ 静岡4区 静岡市清水区、富士宮市、富士市(旧富士川町)

新型コロナウイルス バス会社、観光協会と懇談
三重・鈴鹿市、菟野町 もとむら、たけだ良介

もとむら伸子衆院議員と、たけだ良介参院議員は11、12日、相次いで三重県に入り、新型コロナウイルスで大きな影響を受けているバス会社や観光業者と懇談しました。

もとむら議員は鈴鹿市の神勢観光株式会社を訪問し、神田喜代子代表取締役社長、古川常己専務取締役から業界の実態や政府への要望を聞きました。

神田氏は「インバウンド(訪日外国人観光客)やオリンピックの需要を踏まえて新しいバスを2台注文し



た中でコロナの問題が起きた。秋ごろまで仕事がなく、今は在宅の運転手にも給与を出しているが、状況が長引けば倒産の危険もある」と深刻な実態を話しました。

政府が、中小企業・小規模事業者に対して最大200万円の給付を盛り込んだことについて、神田氏は「今の補償額では企業規模と比べて一ケタ少ない。秋までバス会社が続けられるように補償をしてほしい」と要望を語りました。石田秀三、高橋さつき両市議、松岡三郎北勢地区副委員長が同行しました。

◆ たけだ議員は、菟野(こもの)町

愛知県碧南市議選(定数22、立候補26)19日投票日

日本共産党はいずれも現職の山口はるみ(70)、岡本守正(76)、磯貝明彦(63)の3議席確保へ全力を挙げています。出発式には、もとむら伸子衆院議員が応援に駆けつけました。投票日前日18日には、たけだ良介参院議員も。

12日投開票の岐阜県下呂市議選は、現職の中島新吾、吾郷孝枝の両氏がともに当選を果たしました。

静岡県御前崎市議選は、現職の清水澄夫、新人の八重津純男の両氏がともに及ばず、浜岡原発が立地する自治体で党議席を失いました。両候補の合計得票数は前回より56票、昨夏の参院選比例票から193票増でした。

の湯の山温泉観光協会の会長で鹿の湯ホテル代表取締役の伊藤裕司氏らと懇談、「連休の予約がゼロ」と苦しい状況を聞きました。

伊藤氏は「ここまで客が減ることは初めて。税金の支払い猶予もあるが消費税の猶予は入っていない」と述べました。御在所ロープウェイの森豊専務は「税金などの支払い猶予をまずお願いしたい。助成金があればすぐに休業に踏み切れる」と語り、ほかにも「固定費用の支払い猶予ができないか」「希望荘の望月智広社長」、「来月の見通しも立たない。雇用調整補助金は書類が複雑すぎる」(グリーンホテルの小林久美子副社長)と切実な声が出されました。

中川哲雄町議、松岡三郎地区副委員長が同行しました。

4月20日(月)ブロックいっせい宣伝
新型コロナウイルス対策取りつつ取り組みを